

平成22年度

鉄道局関係補正予算配分概要

目 次

I. 平成22年度鉄道局関係補正予算配分方針	1
II. 平成22年度補正予算配分総括表	2
III. 事業別概要	3
IV. 都道府県別等配分類 円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策 ④地域活性化、社会資本整備、中小企業対策等	7
V. 配分箇所の具体事例	8

平成22年11月

I. 平成22年度鉄道局関係補正予算配分方針

平成22年度鉄道局関係補正予算の配分に当たっては、緊急総合経済対策の一環として社会資本整備の推進を図るため配分を行うこととする。

- (1) 整備新幹線整備事業：13,000百万円（事業費19,500百万円）
- (2) 鉄道防災事業：800百万円（事業費1,200百万円）
- (3) 都市鉄道利便増進事業：3,000百万円（事業費9,000百万円）
- (4) 都市鉄道整備事業：4,000百万円（事業費15,873百万円）

II. 平成22年度補正予算配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区 分	地域活性化、社会資本整備			備 考
	本省配分	一括配分	計	
整備新幹線整備事業 補助	19,500		19,500	
都市・幹線鉄道整備事業 鉄道防災事業 補助	1,200		1,200	
都市鉄道利便増進事業 補助	9,000		9,000	
都市鉄道整備事業 補助	15,873		15,873	
計	45,573		45,573	
直轄 補助	0		0	
計	45,573		45,573	
合 計	45,573		45,573	

Ⅲ. 事業別概要

整備新幹線整備事業

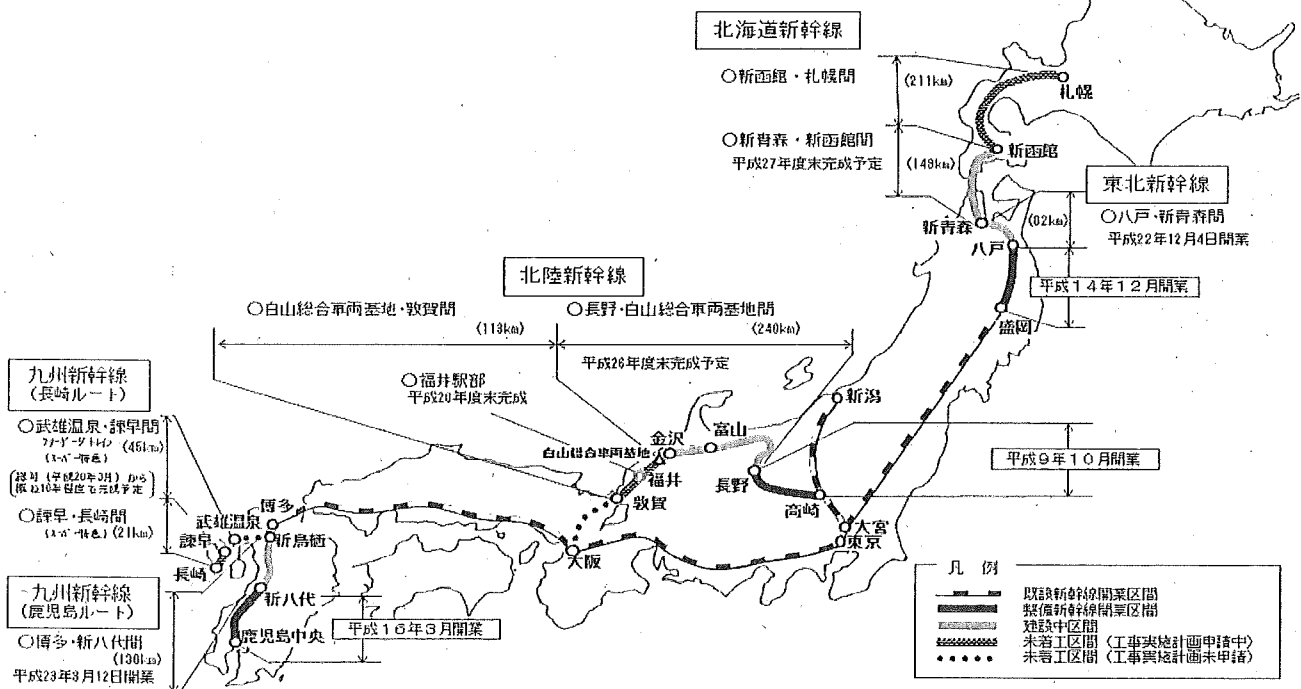
○概要

建設中の区間の予定どおりの完成・開業をより確実なものとするため、周辺市街地の整備と一体となった新幹線駅部の整備を中心に、工事の前倒しを行い、これにより地域経済への波及効果を早期に実現する。

〈配分線区〉

- ・ 北海道新幹線（新青森～新函館）
- ・ 北陸新幹線（長野～金沢（白山総合車両基地））
- ・ 九州新幹線（武雄温泉～諫早）

整備新幹線の現状



Ⅲ. 事業別概要

鉄道防災事業

1. 概要

青函トンネルの機能を地震等の災害から守ることにより、北海道・本州を結ぶ鉄道施設という国土を将来にわたり保全し、地域の円滑な人流、物流の確保による民生の安定に大きく寄与する。

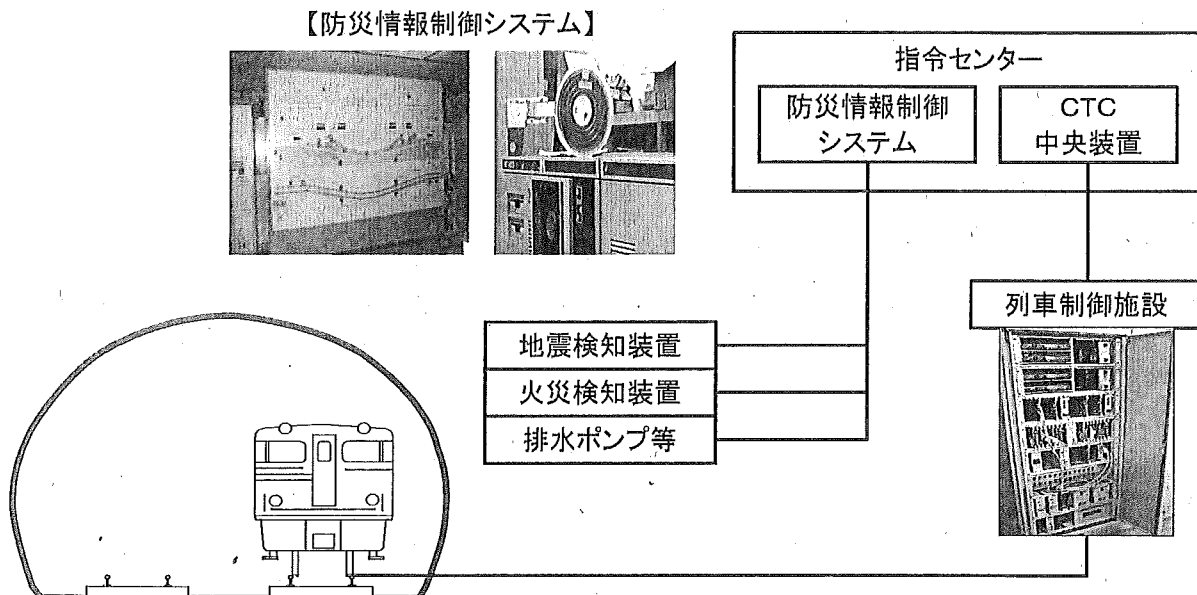
2. 事業内容

青函トンネルは、北海道と本州を結ぶ唯一の陸路であり、鉄道の安全・安定輸送を図るため、地震・列車火災等の災害時にトンネル内を走行する複数の列車を安全に制御・緊急停止させるための列車制御施設や地震・列車火災等の防災情報の通信施設（防災情報制御システム）等を備えているが、これらの施設は、設置以来既に20数年を経過しており、耐用年数を超え、老朽化が著しく進んでいる。

今年度に入り、列車制御施設や防災情報の通信施設（防災情報制御システム）等に不具合が発生しており、同様の不具合はいつ発生してもおかしくない状態となっている。

かかる事態を放置することは、北海道と本州の大動脈である交通手段による安全・安定輸送を直ちに遮断されるリスクがますます高まるとともに、旅客の安全確保に重大な支障をきたし、被害の拡大を助長することから、すみやかに整備を行い、鉄道の安全・安定輸送の確保を図る。

（参考）事業の概要



Ⅲ. 事業別概要

都市鉄道利便増進事業

都市鉄道の既存ストックを有効活用し、都市鉄道等利便増進法に基づき、速達性の向上及び駅施設の利用円滑化を図ることにより利用者の利便を増進し、もって活力ある都市活動及びゆとりある都市生活の実現に寄与することを目的とする。

〈配分路線〉

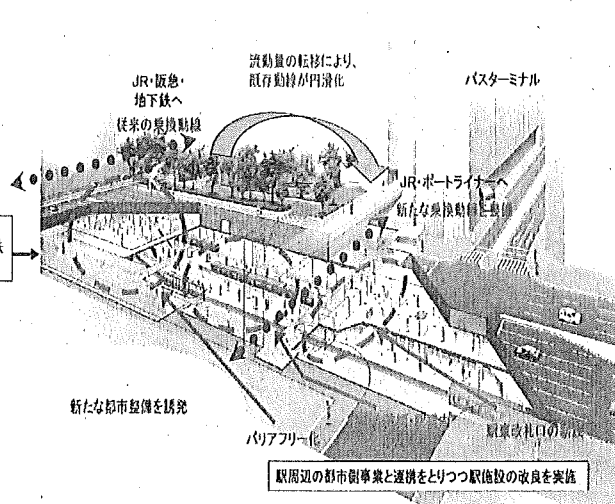
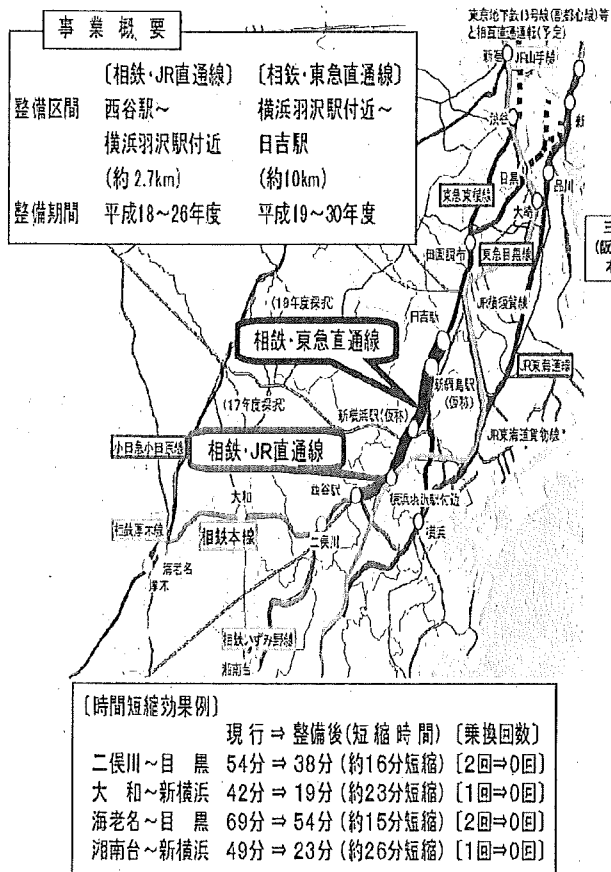
相鉄・JR直通線
(相模鉄道西谷駅～JR東日本東海道貨物線横浜羽沢駅付近)

相鉄・東急直通線
(JR東日本東海道貨物線横浜羽沢駅付近～東急東横線日吉駅)

阪神三宮駅

【相鉄・JR直通線及び相鉄・東急直通線】

【阪神三宮駅】



1. 事業概要
三宮駅(阪神電鉄本線)において、駅施設の改良(駅乗入れ口の新設、ホーム仕切り、駅構内の配線変更、バリアフリー化等)を、駅周辺の都市街事業と連携をとりつつ実施し、駅施設の利用円滑化と交通結節機能の高度化を図る。
2. 計画概要(平成18年3月2日 計画認定)
(1) 整備対象駅 三宮駅(阪神電鉄本線)
(2) 概算事業費 130億円
(3) 工事期間 平成17年度～平成24年度

Ⅲ. 事業別概要

都市鉄道整備事業

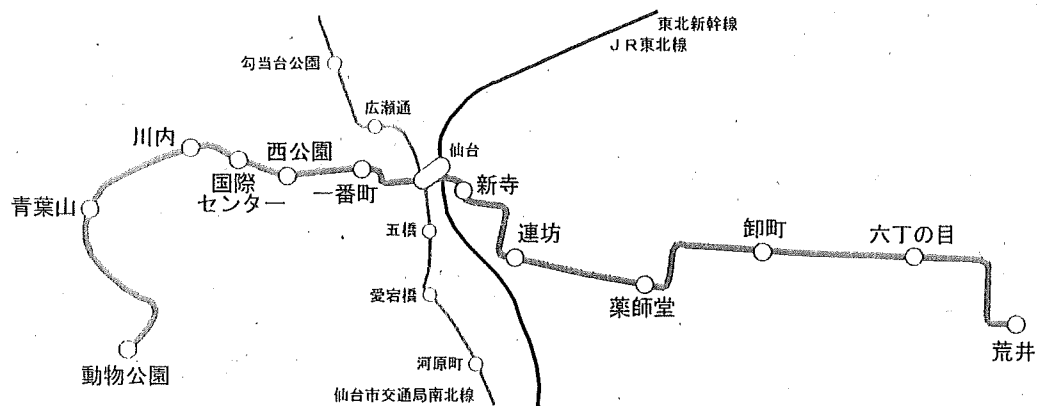
大都市における交通混雑の緩和、都市機能の維持・増進に寄与する都市鉄道(地下高速鉄道)の整備を推進する。

また、大規模改良工事により、地下鉄駅施設のバリアフリー化を促進する。

<補正予算配分路線>

【新線建設】

- ・ 仙台市東西線 (動物公園～荒井) 14.4 km



IV. 都道府県別等配分額

1. 地域活性化、社会資本整備

[補助事業]

(単位：百万円)

区 分	整備新幹線整備事業			都市・幹線鉄道整備事業			合 計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
北海道				1,200		1,200	1,200		1,200
青森									
東北				15,873		15,873	15,873		15,873
宮城									
関東				6,423		6,423	6,423		6,423
神奈川									
近畿				2,577		2,577	2,577		2,577
兵庫									
合 計	19,500	0	19,500	26,073	0	26,073	45,573	0	45,573

V. 配分箇所のご具体事例

1. 地域活性化、社会資本整備

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
整備新幹線整備事業	北海道新幹線 (新青森～新函館) 北陸新幹線 (長野～金沢(白山総合車両基地)) 九州新幹線 (武雄温泉～諫早)	百万円 4,200 15,120 180	整備新幹線整備事業 建設中の区間の予定どおりの完成・開業をより確実なものとするため、周辺市街地の整備と一体となった新幹線駅部の整備を中心に、工事の前倒しを行い、これにより地域経済への波及効果を早期に実現する。
都市・幹線鉄道整備事業 北海道・青森県	青函トンネル	1,200	鉄道防災事業 青函トンネルの機能を地震等の災害から守ることにより、北海道・本州を結ぶ鉄道施設という国土を将来にわたり保全し、地域の円滑な人流、物流の確保による民生の安定に大きく寄与する。
宮城県	仙台市東西線	15,873	都市鉄道整備事業 ・仙台市域においては、現在東西軸の軌道系交通機関が未整備であり、本線の整備により現在計画の荒井地区の土地区画整理事業の促進や卸町等周辺地域の開発に寄与。 ・本線の整備に併せて、市内に散在する東北大学の各キャンパスを青葉山地域へ移転する計画の策定など、都市構造の再編に寄与。
神奈川県	相鉄・JR直通線 相鉄・東急直通線	6,423	都市鉄道利便増進事業 都市鉄道の既存ストックを有効活用し、都市鉄道等利便増進法に基づき、速達性の向上を図ることにより利用者の利便を増進し、もって活力ある都市活動及びゆとりある都市生活の実現に寄与することを目的とする。
兵庫県	阪神三宮駅	2,577	都市鉄道利便増進事業 駅施設の改良(駅東改札口の新設、ホーム拡幅、駅構内の配線変更、バリアフリー化等)を、駅周辺の都市側事業と整合をとりつつ実施し、駅施設の利用円滑化と交通結節機能の高度化を図る。